



総合教育センター SILC 教授

宝来 華代子

HORAI Kayoko

E-mail/khorai@ed.sojo-u.ac.jp

研究業績  
データベース



# 学修者の自律を育成するための アドバイジングスキルとその応用

～時代の変化に伴って重要視される「自律学修」へ向けて～



## 研究シーズ概要

変化が激しく将来の予測が困難な時代において、学修者が自身の学びに責任を持ち、継続的に学習をデザインしていく力、学びのオーナーシップを認識することは不可欠です。つまり「自律学修」が重要視されています。語学教育ではこうした「自律」に関する研究が広く行われていますが、その意義は語学にとどまらず、あらゆる学習分野において求められる資質といえます。自律性の育成には、成長段階に応じた適切な支援が不可欠であり、個別のニーズに対応する学習アドバイジングは、専門的な対話を通じて自律的な学びを促す有効な手法です。さらに、AI技術の進展により学習の在り方そのものも変化しており、今後は人的支援とテクノロジーを融合させた新たな学習支援の展開が期待されます。



## 利点・特長・成果

語学教育における学習アドバイジングは、学修者との1対1の対話を通して学修者のメタ認知を養い、自律育成と学習の継続や語学力向上を目指します。その効果は国内外の研究でも認められています。崇城大学では語学の自律学修センター(SALC)を基盤に、専門分野にも応用した全学的なSALCを展開しています。また対話スキルはコミュニケーション研修にも応用されます。近年は生成系AIの活用も進み、パーソナライズされた学びの効果や自律育成の可能性が明らかになっています。テクノロジーを融合させた適切な支援の在り方の開発が重視されます。

語学教育に限定されず、様々な学びの場における  
学習アドバイジングスキルとして応用が可能です。



## その他の研究シーズ

■個別の対話による学習支援を行うための教員研修(自律教育、メタ認知、動機づけ等の理論と実践)をはじめ、企業様におけるコミュニケーション促進のためのワークショップ(対話を通じた信頼関係構築に活かせるスキル)などを提供することが可能です。



キーワード 学習者自律、メタ認知、モチベーション、対話、学習支援、コミュニケーション

## 本技術に関し、対応可能な連携形態(サービス)

|         |   |        |   |            |   |
|---------|---|--------|---|------------|---|
| 知財活用    | 可 | 技術相談   | 可 | 共同研究       | 可 |
| 施設機器の利用 | 否 | 研究者の派遣 | 可 | 技術シーズ 水平展開 | 否 |

## 開発段階

|   |      |                   |   |      |               |
|---|------|-------------------|---|------|---------------|
| 5 | 第5段階 | 製品・サービス化(試売/量販)段階 | 2 | 第2段階 | 試作(ラボ実験レベル)段階 |
| 4 | 第4段階 | ユーザー試用段階          | 1 | 第1段階 | 基礎研究・構想・設計段階  |
| 3 | 第3段階 | 試作(実証レベル)段階       |   |      |               |

## SDGsの目標

4 質の高い教育を  
みんなに

